会 議 要 旨

会議名	第4回館山市観光事業審議会
開催日	令和7年7月2日(火) 14:00~16:00
開催場所	南総文化ホール 大会議室
出席者	館山市観光事業審議会委員 11名 館山市：副市長、事務局(8名)
公開・非公開の別	公開 一部非公開 非公開
傍聴者	17名
会議概要・結果等	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ ・館山副市長挨拶</p> <p>(副市長) これまでに開催した3回の会議では、委員の皆様から多くの御意見をいただきましたこと、改めて感謝申し上げます。本日は、当審議会の答申案について、委員の皆様にご意見をいただければと思います。本日が最後の審議会となりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>3. 議事 (1)「第3回審議会の振り返り」 ・事務局から説明 【質疑応答・意見】</p> <p>(内山会長) 改めて、上乗せ金額については150円で異論はないか。</p> <p>(全委員) 異議なし。</p> <p>(2)「使途及び税制度設計について」 ・事務局から説明 【質疑応答・意見】</p> <p>(鈴木委員) 資料内の税制度設計について、事業者の負担軽減ため、千葉県税制度と同一にするとあるが、誤解を生む可能性がある。</p> <p>(事務局) 実際の税負担と徴収事務の負担の両方の意味で取れる文書になっているので、削除する。</p> <p>(石井議員) 徴収に関しては、市での上乗せ課税の分も合わせて千葉県が行うという認識で</p>

いる。千葉県と館山市の税制度が異なると、徴収を一括で行ってくれないのではないか。

(事務局)

そういった面も含め、千葉県の税制度と同一にすることとしている。

(酒井委員)

宿泊税の使途としてはもう少し細かく記載した方がいいのではないか。

(事務局)

宿泊税を実際に検討していく中で、改めて、使途の検討を行う会議を設けるなどを考えている。その時々ニーズに合わせた対策を練り、使途についても検討していきたい。

(安田信之委員)

一日も早く、使途を皆様にお示しすることが重要だと思う。市だけではなく、あらゆる関係各所を含めて、検討を行っていくのはどうか。

(内山会長)

現段階では、アバウトな使途になってしまうのは致し方ない。課税開始の前に詳細を詰めていくことが必要。

(鈴木委員)

税率について、安房3市1町での足並みはどうなっているか。

(内山会長)

本会議において、館山市の課題が見えてきた中で、150円という数字が出てきた。個人的には各市町で課題や事情が異なるので、金額の差が出るのは致し方ない。ただ、制度設計や県への要望については、足並みを揃えることが出来るのではないか。

(事務局)

宿泊税が目的税であることから、各市町の目的によって金額が異なるのは必然だと考えている。税率以外の部分については、今後、近隣市とも協議を行っていく。

(石井議員)

安房3市1町での足並みについて、税率が異なるのは理解しているが、今までも一体となって観光客誘致や回遊性の向上を目指してきた。例えば、今後も安房3市1町が足並みを揃えるということも含め、検討していく内容の一文を追加してみてもどうか。

(事務局)

追加する。

(石井議員)

低単価の宿や学生・連泊客への課税免除は引き続き、千葉県への、要望をお願いしたい。

また、システム改修などの宿泊事業者への補助、市内流通クーポン等の宿泊客への支援についても明確に記載をお願いしたい。

(事務局)

千葉県の支援内容が具体的に示されていない現状なので、今後示される補助メニューに応じて市としても判断したい。

(児玉委員)

千葉県への要望として、補助メニューをなるべく早く示すことを求めたい。そこが示されたうえで、足りない部分を市で補助していくという構造が良いのではないか。

(上條副会長)

インバウンド誘客が用途として挙がっている中で、全国的にはインバウンド客への課税免除を行っている市町村もある。今後、他市町の対応にも注視していきたい。

(酒井委員)

宿泊税が導入されて、実際にそのお金が使えるのはいつ頃の予定なのか。

(事務局)

市の上乗せ課税分に関しては、入湯税と同様に月末締、翌月末納期になると聞いている。課税開始から2か月後には上乗せ分については分配されるのではないかと予想している。今後、内容がわかり次第共有したい。

(児玉委員)

DMOについては、今年から登録要件がかなり厳しくなるため、宿泊税と同じスピード感で検討を進めるべき。審議会は今日で終了になるが、ここにいる各団体の代表が、継続してこの問題について議論していければ良いかと思う。

(安田信之委員)

DMO ありきでの150円だと思っているので、DMO ができないとなるとこの金額設定も本来の意味が無くなってしまうように感じる。今後、登録までの流れはどう考えているか。

(事務局)

DMOについては、下準備を進めている段階。答申が出た後、本格的に検討していく。

(内山会長)

DMOの準備に関しては、宿泊税の課税開始を待つことなく、設立に向けた準備を進めていくことが必要であると報告書に記載するのはいかがか。

(事務局)

追加する。

(小金委員)

報告書内に DMO という文言が出ているので、本審議会とは別に、DMO の設立委員会を設置して本格的に動いていただきたい。

(石井委員)

早急に DMO についてしっかりと取り組むべきだというようなことを報告書に記載していただきたい。また、記載するだけでなく実際に本腰を入れて動いていければいいと思う。

(事務局)

追加する。DMO は市だけでは設立することはできない。多くの関係団体と合意形成を取って、設立できるものだと考えているので、皆様にも引き続きご協力いただきたい。

(安田邦春委員)

宿泊事業者には大きな負担にはなるが、今後も使途の検討や DMO の設置の会議などに意見をいただきたい。

(内山委員長)

今後も、オール館山市で議論し、実行していただきたい。

(3) 「今後のスケジュールについて」

・事務局から説明

【質疑応答・意見】

なし。

(4) 「その他」

(山田委員)

お客様への周知についてのスケジュールはいかがか。

(事務局)

千葉県と合わせたスケジュール感で周知していく。

(鈴木委員)

入湯税と宿泊税を合わせて、1 億 2 千万円のお金が観光予算になるという認識でよろしいか。

(事務局)

入湯税については、地方税法の規定により観光振興以外に環境衛生や消防施設、水質管理にも使えることとなっているが、近年の支出においては大半が観光振興に使われている。宿泊税と入湯税の大部分を合わせた額で観光振興を行っていく認識で間違いない。

	<p>(安田信之委員) 一般財源に消えてしまって、観光振興以外に使われることはないか。</p> <p>(事務局) 目的税なので、観光振興以外には使用できない。いただいた宿泊税はしっかりと観光振興に活用していく。</p> <p>・ 館山副市長挨拶</p> <p>(副市長) 委員の皆様におかれましては、全4回の長期間にわたるご審議、また、貴重なご意見等ありがとうございました。館山市としましては、後日、内山会長より報告いただきます当審議会の答申内容に基づき、館山市の市民の方々、館山市に訪れる観光客の方々のための有意義な宿泊税を設計していきたいと考えております。今後とも館山市の観光振興のためにお力添えをいただきたく存じます。本日はありがとうございました。</p> <p>4. 閉会</p>
--	--